

# 「徹底攻略 確率統計」(共立出版, 2014)の訂正

2018.7.31 真貝寿明

初版 3刷(2014/9)について,たいへん申し訳ありませんが,次の訂正があります.  
このお知らせは, <http://www.oit.ac.jp/is/~shinkai/book/> にて更新しています.

以下は, 4刷で訂正しています.

場所	誤	正
p50 例題 1.20	解答例の (1) と (2)	(A) と (B) に
p63 例題 1.40	解答下から 2 行目 $= P(A B) \cdot P(\bar{B} S) \cdot P(S) = \dots$	$= P(A \bar{B}) \cdot P(\bar{B} S) \cdot P(S) = \dots$
p63 例題 1.40 傍注	(4) の 3 行目 $P(\bar{S} A \wedge \bar{B}) = 2/9$	$P(\bar{S} A \wedge \bar{B}) = 1/9$
p122 (3.1.13)	$P( \bar{X} - \mu  < \varepsilon) \geq 1 - \frac{\sigma^2/n^2}{\varepsilon^2}$	$P( \bar{X} - \mu  < \varepsilon) \geq 1 - \frac{\sigma^2/n}{\varepsilon^2}$
p124 図の中央	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = 50/6)$	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = (50/6)^2)$
カバー 裏表紙	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = 50/6)$	$N(\mu = 500/6, \sigma^2 = (50/6)^2)$

以下は, 5刷で訂正しています.

場所	誤	正
p97 3 行目	グラフは, $n$ が大きくなるほど	グラフは, $\lambda$ が大きくなるほど
p111 (2.6.9)	シグマ記号内の $R_{ij}$	$R_{ij}^{-1}$ に

以下は修正・追記です.

場所	誤	正
p iv 序 下から 4 行目	<a href="http://www.is.oit.ac.jp/~shinkai/book">http://www.is.oit.ac.jp/~shinkai/book</a>	<a href="http://www.oit.ac.jp/is/~shinkai/book">http://www.oit.ac.jp/is/~shinkai/book</a>
p55 下の傍注	男の子の数が少なくなる.	男女比はどうなるだろうか.
p94 例題 2.22	傍注追加	この結果, 大まかに $30 \pm 4.58$ 人と予測することができる.
p110 表	2010 年の欄 進学率 57% 2015 年の欄 進学者? 進学率?	進学率 56% に 進学者 68 万人 進学率 57% に
p110 下から 8 行目	2010 年では 68.91 点である.	2010 年では 67.80 点, 2015 年では 66.33 点である.
p138 問題 4.2 直前	$ r  = 1$ となる条件がわかった.	$ r  = 1$ となるのが「データが直線状に分布するとき」であることがわかった.
p194 コラム 32	一番最後に文追加	(その後, この実験は PC へのデータ供給のケーブルの緩みが原因で解析結果が誤っていたことが判明した.)
p241 問題 2.31(3)	$\alpha \geq 6.66$ の面積は, $1.369 \times 10^{-11}$	$\alpha \geq 6.66$ の面積は, $2.0 \times 10^{-11}$ 以下, 正確には $1.369 \times 10^{-11}$